

別紙 参考様式 1

令和 8 年度学校経営計画

学校名 東広島市立黒瀬中学校

校長名 村上 正志

I 学校の状況

学級数	18	児童・生徒数	473	教職員数	50
メールアドレス	kurose-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/kurose_chu/				

II 教育目標

前向き

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>【ミッション】 将来への夢と生きる力をはぐくみ自己責任と社会貢献を实践する人材に育てる。</p> <p>【ビジョン】 「人みな尊し 我また尊し」の校訓のもと、黒瀬中の品格と誇りを持ち、社会貢献を实践する人材を育てる。 黒瀬中の品格と誇り 【前力三訓】 <前 進> 様々なことに挑戦する。 <前 向 き> 失敗を恐れず、何事にも積極的に取り組む。 <当たり前> 当たり前前のことを当たり前に行う。</p>

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	「基礎・基本」の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現	○基礎的な学習内容の着実な定着 ○思考力・判断力・表現力を高める授業づくり	・振り返り活動の充実 ・生徒指導の三機能を生かした授業づくり ・思考を深めるためのICTを効果的に活用した授業づくり	①自身の学習内容の習得状況を振り返り、次の学習への意欲や見通しに繋げている生徒の割合が90%以上 ②「学ぶこと（授業）が楽しい」と肯定的にとらえる生徒の割合が85%以上 ③ICTを積極的に活用して学習する生徒の割合が90%以上
豊かな心	2	豊かな心の醸成と健やかな体の増進	○自律した生活態度の醸成 ○美しい環境づくりの推進 ○自他を尊重する集団の育成	・黒瀬スタンダードや学校のきまり等の規範意識の徹底 ・無言清掃の徹底 ・前力三訓を意識した学校生活の促進と正義感の醸成	④黒瀬スタンダード（挨拶、返事言葉遣い、履物、姿勢、服装、身なり、時間を守る）を意識した生徒の割合が90%以上 ⑤無言清掃に取り組む生徒の割合が90%以上 ⑥前力三訓を意識し、行事に前向きに取り組むことができる生徒の割合が90%以上
学校運営	3	機能的な組織運営	○働き方改革の推進 ○地域の教育資源の有効活用	・学校組織における分掌等役割配分の適正化 ・地域の教育資源を活用した教育活動の推進	⑦働き方改革の視点をもって業務を進めようとしている教職員の割合が80%以上 ⑧地域の教育資源を積極的に活用して教育活動を進めようとしている教職員の割合が80%以上

※各学校の現状を踏まえた目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。
 ※「目標達成のための方策」については、短期経営目標を達成するための具体的な方策を明記し、学校評価との関連性をより明確にするように留意する。

V 学校評価

1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

(1) 自己評価 … 年2回 実施

学校運営協議会 … 校長・教頭・事務長・教務主任・学年主任・生徒指導主事

評価者	評価方法	評価時期
教職員	アンケート	7月・12月
生徒	アンケート	7月・12月
保護者	アンケート	7月・12月

(2) 学校運営協議会（7名）

沖川 淳 様 平田 裕 様 橋本 祐子 様（地域学校協働活動推進員）

藤田 春恵 様（黒瀬高等学校長） 植野 洋一郎 様（乃美尾小学校長）

中村 誠 様（PTA会長） 村上 正志（学校長）

保護者	アンケート	7月・12月
学校運営協議会委員	説明・協議	6月・11月・2月

2 自己評価及び学校運営協議会の実施計画

- ・自己評価（7月）での進捗度、成果と課題、改善を校内研修において全職員で共有し、後期の取組に生かす。
- ・学校運営協議会（11月）で説明し評価を受けるとともに、評価結果を学校だより等で公開する。
- ・自己評価（12月）での進捗度、成果と課題、改善を校内研修において全職員で共有し、翌年度の計画・施策に反映させる。
- ・学校運営協議会（2月）で説明し評価を受けるとともに、評価結果を学校だより等で公開する。
- ・評価結果を反映した新年度計画を学校経営計画書として作成し、新年度の学校説明会で説明する。